

# 各常任委員会の経過

## 総務文教 委員会

委員会に付託された案件は、議案三件でした。

平成十九年度羽生市一般会計補正予算第五号の審査では、教育費において、南中学校に吹奏楽部ができたことにより今後三年間で、徐々に楽器を揃えていきたいとのことだが、購入総額はどの程度になるかとの質疑に対し、購入する楽器の種類によっても変わってくるものの、三十人規模の部員の場合、定価で一千万円程度になるものと見込んでいるとの答弁がありました。

また、債務負担行為の補正において、来年度始まるコンビニ収納の費用対効果をどのように考えているかとの質疑に対し、納税通知書の発行件数約十二万件のうち、二十五

%程度がコンビニ収納を選択するものと見込む。本事業の効果については不確定要素があるものの、納税者の利便性の向上が狙いであるとの答弁がありました。

また、羽生市部設置条例の一部を改正する条例では、仕



審査結果を報告する齊藤委員長

事量が増えていく分野を担うシルバー福祉課と保健年金課を統合することだが、市民の要求にこたえるサービスは提供できるかとの質疑に対し、今回の改正は、保健医療改革に即した体制整備を図る

## 産業民生 委員会

委員会に付託された案件は、議案二件でした。

平成十九年度羽生市一般会計補正予算第五号の審査では農業費において、以前市内の他地区で採択された野菜施設の補助事業と、今回補正計上された生産振興総合支援事業費の補助事業にはどのような違いがあるのかとの質疑に対し、従前採択された事業は、土を問わず肥料を霧状にして噴霧するなど完全密閉型の無菌栽培でレタスや、サラダ菜を栽培する高度な施設である。それに対し今回の補助事業は、生産性の向上を図る別の農事組合法人が、生育過程にある十数種類の野菜の葉を、サラダ用に商品化するためのピニールハウス施設栽培に対す

ものであり、窓口の一本化に係の連携・応援態勢が容易になるとの答弁がありました。これらの審査の結果、付託議案三件は何れも原案の通り可決すべきものと決しました。

るものであるとの答弁がありました。

また、土木費において、この補正によって川崎産業団地の道路補修は、将来的に十分な対応となるのかとの質疑に対し、団地造成の際、企業局は、製造業関連の工場等を見込んだ道路構造で工事を施工した。しかし、流通業等の企業も立地したため交通量が予想を超え、道路が著しく損傷したものである。そこでこうした車両の交通量にも対応するため、舗装厚を増した整



審査結果を報告する小野委員長

備を行うものであるとの答弁がありました。

委員会ではこれらの審査の結果、付託議案二件は何れも原案の通り可決すべきものと決しました。

十二月定期市議会傍聴者数	
十一月二十九日……	二人
十二月六日……	十七人
七日……	二十四人
十日……	八十四人
十四日……	一人
計	百二十八人
常任委員会傍聴者数	
十二月十一日……	一人
計	一人

- 《議会だより編集委員会》
- 委員長 丑久保 恒行
  - 副委員長 蜂須直 巳
  - 委員 藤倉 宗義
  - 委員 斉藤 隆
  - 委員 小野 幸夫



ご意見などを  
編集委員会まで

☎048(561)1121

(内線)512